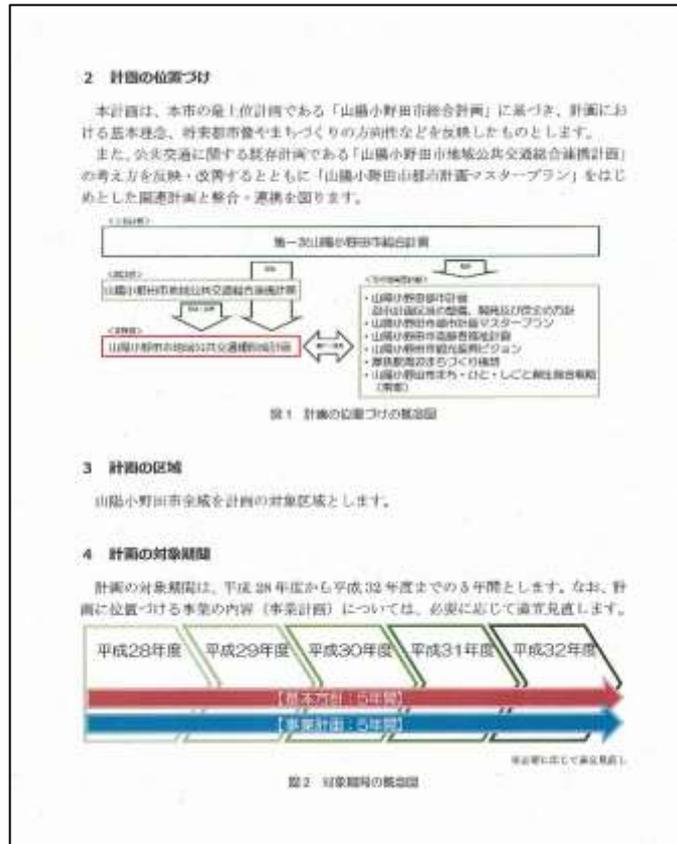


山陽小野田市地域公共交通網形成計画の期間見直しについて

1 現行の計画期間

山陽小野田市地域公共交通網形成計画（以下、網計画という。）は、平成28年3月に策定しており、計画期間は平成28年度から令和2年度（平成32年度）までの5年間となっています。



（公共交通網形成計画2ページ）

2 期間の見直し

【現 行】 令和3年3月末日まで ⇒ 【見直し後】 令和4年3月末日まで
 ※1年間の期間延伸



<基本方針・事業計画：6年間>

3 見直しの理由

網計画では、計画に定めた目標を実現するために9つの事業を実施することとしています。9つの事業の一つに路線バスの再編を掲げており、平成30年度には、山陽小野田市路線バス再編計画を策定し、効率的なバス路線の構築に向けて取り組んでいるところですが、事業のボリュームが大きく、再編計画の内容を実際のバス路線に反映し終わるのは令和2年度以降になる見込みです。

また、国においても、網計画に代わる新しい計画となる「地域公共交通計画（仮称）」の策定や、新たな計画に関連した新事業の展開といった動きがあるため、近い将来における新規計画の策定も視野にいれておく必要があります。

以上のことから、網計画の期間を延長し、バス路線再編後の検証等も十分に行った上で新規計画に繋げていくといった方向性が、現実的な選択肢ではないかと考えています。

【参考資料】

- ・ 今後における路線バスの再編内容及びスケジュール

今後における路線バスの再編内容及びスケジュール

平成31年3月に策定した「山陽小野田市路線バス再編計画」では、本市を運行するバス路線について、以下のとおり再編を行うよう予定しています。

1 内容

項目	内容	実施時期	備考
高畑・高泊循環線の江汐公園乗入 (スケジュール①)	コミュニティバス路線である高畑・高泊循環線において、本市の観光スポットの一つである江汐公園への乗入を開始する。	令和元年10月	※実施済
山口東京理科大学生路線バスフリーパス (スケジュール②)	山口東京理科大学では、スクールバスを運行することで、学生の通学手段を担っている。スクールバスを取り止め、市内の90%以上のバス路線を運行する船鉄バスの全路線を乗り放題とすることで、通学を含む日常的な移動手段の利便性向上に繋げる。	令和2年4月	※令和2年1月に大学とバス会社間で協定の締結を予定 ※学生証の提示により乗車可能
JR小野田駅構内へのバス停統合 (スケジュール③)	現在、小野田駅構内に1つ、敷地外の道路脇に3つある停留所について、駅構内を2つ設置する方向で統合を行う。停留所の統合により、利便性の向上を図り、小野田駅の交通結節点機能の強化に繋げる。	令和2年10月	※サンデンバスの宇部中央行き、船鉄バスの小野田駅通過便の全便を乗入 ※サンデンバスの下関行のみ乗入(現時点)
小野田南部地区におけるバス拠点の集約 (スケジュール④、⑤)	小野田南部地区において、本山岬、刈屋と2か所あるバス拠点をきらら交流館1か所に集約。拠点を一つにすることで、新たなバスシステムの検討など、効率的な運行に繋げていく。	令和2年10月	※本山岬方面については、減便はあるが、バス路線は維持
高泊地区における交通手段の転換 (スケジュール⑥)	高泊地区において、現行のコミュニティバス路線から他の交通手段(コミュニティタクシー等)への転換を図る。	令和2年1月～	※令和2年度に、コンサル会社を活用し、地域との意見交換等を実施
厚狭北部便の廃止 (スケジュール⑦)	コミュニティバス路線「厚狭北部便」については、デマンド型交通の運行エリアと重なるため廃止。小学生の通学は、スクールバスでの対応へと転換を図る。教育委員会と協議が必要。	令和2年4月～ (協議開始)	※令和2年度に、教育委員会と今後に向けた協議を行い、転換時期は協議内容による

<その他>

- 渡場バス停における乗継環境改善（随時実施）
- ひばりが丘－叶松団地を運行する路線バスの市民病院乗入
- コミュニティバス路線「ねたろう号」または「いとね号」による厚狭高校乗入検討 など

■バス路線再編等公共交通施策実施スケジュール

番号	項目	令和元年度						令和2年度								
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
①	高畑・高泊循環線の江汐公園乗入	→		令和元年10月から乗入開始。(船鉄バス) ※バス路線再編計画事項												
②	山口東京理科大学学生乗車フリーパス	令和2年4月開始予定。市内を運行する船鉄バスの全路線を対象に乗り放題を実施。スクールバスからの転換を図る。 ※バス路線再編計画事項の一環						＜令和2年1月、大学―船鉄間で協定書締結を予定。＞								
③	JR小野田駅構内へのバス停統合			令和2年10月開始予定。現在、小野田駅構内で乗降を行うのは、下関行のサンデンバスのみ。宇部中央行のサンデンバス及び小野田駅を通過する船鉄バスの全便について、ダイヤ調整の上、乗入開始。 ※バス路線再編計画事項の一環											→	→
④	小野田南部地区においてバス拠点「きらら交流館」に集約			令和2年10月開始予定。現在、本山岬及び刈屋の2か所を拠点とする小野田南部地区のバス運行について、きらら交流館に拠点を統合。 ※バス路線再編計画事項の一環											→	→
⑤	(④に伴い)南部地区のバス系統を整理			令和2年10月開始予定。きらら交流館へのバス拠点集約に併せて、より効率的なバス経路への組換えを行う。本山岬方面は、生活面・観光面を考慮し、減便にはなっても路線としては維持する。 ※バス路線再編計画事項の一環											→	→
⑥	高泊地区における交通手段の転換	→		令和2年1月着手予定。路線バスから、デマンド等への転換。				＜地域との意見交換等を通じて、新たな交通手段への転換を検討。※コンサル活用								
⑦	厚狭北部便の廃止			北部便の廃止に伴い、児童の通学手段の検討が必要。令和2年度において教育委				＜教育委員会との協議。実際の転換時期は、令和3年度以降となる。＞								

【その他】 ※検討中を含む

○渡場バス停における乗継環境の改善 <随時実施中>

○ひばりが丘―叶松団地を運行するバスについて市民病院への乗入を開始。 <令和2年10月以降>

○コミュニティバス路線「ねたろう号」または「いとね号」による厚狭高等学校乗入の実証実験。 <令和3年4月以降>

